

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
350006	X-21-B-2-350006	2	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択	1年
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	1年
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択	1年
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	1年
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×

授業目的

(1) ヨーロッパ統合の来し方・行く末について熟考する。(2) ヨーロッパ国際社会の政治的特徴について理解する。(3) 現代ヨーロッパを第1期と第2期に分け、ヨーロッパ統合の視点からその質的相違について考察を深める。(4) ヨーロッパ各国政治に共通に見られる諸課題(格差、差別、極右、テロ)について、ヨーロッパ統合の視点から議論する。

なお、この授業は、「グローバルな課題に批判的な問題意識と建設的な眼差しをもって向きあう実践的な態度を獲得する」ための科目のひとつになる。

また以下の内容・順序は、当該年度学期に展開する新たな政治状況のありように応じて、変更することがある。最新の動向を紹介することを優先したい。

各回毎の授業内容

第1回 【授】導入、ヨーロッパの今 【前・後】ヨーロッパ政治のニュースをフォローしておくこと。また参考図書を図書館で探して、気になったところを部分的に目を通してみる。4時間相当の事前事後学習。	第9回 【授】現代ヨーロッパ第1期(1) 【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習
第2回 【授】ヨーロッパのイメージ、文明と野蛮 【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習	第10回 【授】現代ヨーロッパ第1期(2) 【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習
第3回 【授】ヨーロッパ国際社会の特徴(1) 【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習	第11回 【授】現代ヨーロッパ第1期(3) 【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習
第4回 【授】ヨーロッパ国際社会の特徴(2) 【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習	第12回 【授】現代ヨーロッパ第2期(1) 【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習
第5回 【授】ヨーロッパ国際社会の特徴(3) 【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習	第13回 【授】現代ヨーロッパ第2期(2) 【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習
第6回 【授】ヨーロッパ国際社会の特徴(4) 【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習	第14回 【授】現代ヨーロッパ第2期(3) 【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習
第7回 【授】ヨーロッパ統合の歴史(1) 【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習	第15回 【授】現代ヨーロッパ第2期(4) 【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習
第8回 【授】ヨーロッパ統合の歴史(2) 【前・後】前回のノートを見返しておくこと。授業中に紹介した資料文献に目を通しておくこと。4時間相当の事前事後学習	第16回 【授】学期末レポート提出 【前・後】授業中に指示した内容のレポートを仕上げて持参してくる。

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							50
小テスト・授業内レポート							50
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							

学期末レポート50%・毎回のコメントカード50%

なお、ポータルおよび掲示板で、最優秀レポートを公表し、全体の出来具合について講評する。

教科書参考書

臼井陽一郎編『EUの規範政治』ナカニシヤ出版
 森井裕一編『ヨーロッパの政治経済・入門』有斐閣
 マーク・マゾワー『暗黒の大陸—ヨーロッパの20世紀』未来社
 水島治郎『ポピュリズムとは何か—民主主義の敵か、改革の希望か』(中公新書)
 広岡裕児『EU騒乱—テロと右傾化の次に来るもの』新潮社

受講に当たっての留意事項

ヨーロッパのニュースに日々ふれるようにしていくこと。毎回コメントカードを書いてもらう。その日の授業のまとめを記し、感想や疑問を述べるという形式にしたい。

学習到達目標

(1) ヨーロッパ統合の歴史的な意義と現代的な課題について、自らの認識をたえず新たにしていく自分なりの接近法を手に入れること。(2) 現代ヨーロッパの動向に東アジアの今にも通底する政治の課題を見いだす批判的思考に習熟すること。(3) 特定地域の国際政治の歴史を学習しつつ現在の動向を追うにあたって、実績の光と失敗の影の双方に目を配り、両者を鋭く対比させる認識方法を獲得すること。

JABEE

【授】: 授業内容【前・後】: 事前・事後学習